

川崎市建築物環境配慮制度受付番号 20008

建築物名称	(仮称)丸栄製紙(株)様マンション I 新築工事
建築主	丸栄製紙株式会社 代表取締役 勝又 恒
建築物の所在地	川崎市多摩区登戸2423-1,-4,2430-1,-2,-3,-4,-5,-7,-8,-10,-12,2452-1,-2の各一部、及び2430-6,-9,-11の全部
設計者氏名、建築士事務所名	貴志 悟 生和コーポレーション株式会社 一級建築士事務所
工事種別	新築
床面積の合計	3,522.40m ²
用途	共同住宅、飲食店
構造	鉄筋コンクリート造
階数	地上13階
工事完了予定年月	令和3年11月
自然エネルギーの利用 (利用を検討した自然エネルギーの種類)	太陽光発電、太陽熱利用
自然エネルギーの利用 (利用を決めた自然エネルギーの種類)	なし

CASBEE川崎

■使用評価マニュアル: CASBEE-川崎2017年版

使用評価ソフト: CASBEE-川崎2017(v.3.1)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)丸製紙紙様マンションI 新築工事	階数	地上13F
建設地	川崎市多摩区登戸2423-1,2430-1 他	構造	RC造
用途地域	商業地域、防火地域	平均居住人員	200 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	飲食店,集合住宅,	評価の段階	
竣工年	2021年11月 予定	評価の実施日	2020年5月15日
敷地面積	781 m ²	作成者	生和コーポレーション株式会社
建築面積	480 m ²	確認日	2020年5月18日
延床面積	3,522 m ²	確認者	生和コーポレーション株式会社

外観パース等
パースの公表を希望される場合は
図を貼り付けてください

2-1 建築物の環境効率 (BEEランク&チャート)	2-2 ライフサイクルCO ₂ (温暖化影響チャート)	2-3 大項目の評価 (レーダーチャート)
<p>BEE = 0.9</p> <p>S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★</p> <p>環境品質 G</p> <p>環境負荷 L</p>	<p>☆☆☆☆☆</p> <p>標準計算</p> <p>①参照値 100%</p> <p>②建築物の取組み 95%</p> <p>③上記+②以外の 95%</p> <p>④上記+ 95%</p> <p>(kg-CO₂/年・m²)</p> <p>このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比したライフサイクルCO₂排出量の目安で示したものです</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q1 室内環境</p> <p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>LR1 エネルギー</p> <p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR3 敷地外環境</p>

2-4 中項目の評価 (バーチャート)		
<p>Q 環境品質</p> <p>Q のスコア = 2.8</p>		
<p>Q1 室内環境</p> <p>Q1のスコア= 2.9</p>	<p>Q2 サービス性能</p> <p>Q2のスコア= 2.9</p>	<p>Q3 室外環境 (敷地内)</p> <p>Q3のスコア= 2.7</p>
<p>LR 環境負荷低減性</p> <p>LR のスコア = 2.9</p>		
<p>LR1 エネルギー</p> <p>LR1のスコア= 3.2</p>	<p>LR2 資源・マテリアル</p> <p>LR2のスコア= 2.4</p>	<p>LR3 敷地外環境</p> <p>LR3のスコア= 3.0</p>

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される

重点項目についての環境配慮概要		実績重点項目スコア 合計/ 重点項目最高スコア合計	重点項目への 貢献点注) (5点満点)
内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。		
緑の保全・回復(G)		Gの平均点	2.8
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策 1 生物環境の保全と創出 2 まちなみ・景観への配慮 3 3.2 敷地内温熱環境の向上	緑化指針に適合している。 植栽により、良好な景観を形成している。 屋上緑化を設置する。	2.3/4.3	2.6
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.2 温熱環境悪化の改善	敷地内緑化による地表面被覆対策を行っている。	0.5/0.8	3.0
地球温暖化防止対策の推進(W)		Wの平均点	2.9
Q-1 ■ 室内環境対策 2 2.1 2.1.2 外皮性能 3 3.1 3.1.3 昼光利用設備 3.2 3.2.1 昼光制御	断熱材による熱負荷に軽減。	1.7/2.3	3.6
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策 1 生物環境の保全と創出 3 3.2 敷地内温熱環境の向上	緑化指針に適合している。 屋上緑化を設置する。	1.1/2.3	2.3
LR-1 ■ エネルギー対策 1 建物外皮の熱負荷抑制 2 自然エネルギーの利用 3 設備システムの高効率化 4 効率的運用	住宅部等級4 住宅部分BEI=0.92、非住宅部分BEIm=0.94	3.3/5.0	3.3
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策 1 水資源保護 2 非再生性資源の使用量削減 3 3.2 フロン・ハロンの回避		2.3/4.7	2.4
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.2 温熱環境悪化の改善	敷地内緑化による地表面被覆対策を行っている。	0.5/0.8	3.0
資源の有効利用による循環型地域社会の形成(R)		Rの平均点	2.7
Q-2 ■ サービス性能対策 2 2.2 部品・部材の耐用年数	主要内装仕上げ材の更新必要間隔20年とする。	0.3/0.5	3.0
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策 1 水資源保護 2 非再生性資源の使用量削減		1.9/4.0	2.4
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.3 地域インフラへの負荷抑制	適切な量の駐車スペースを設置する。	0.2/0.4	3.0
ヒートアイランド現象の緩和(H)		Hの平均点	2.9
Q-3 ■ 室外環境(敷地内)対策 1 生物環境の保全と創出 3 3.2 敷地内温熱環境の向上	緑化指針に適合している。 屋上緑化を設置する。	1.1/2.3	2.3
LR-1 ■ エネルギー対策 1 建物外皮の熱負荷抑制 2 自然エネルギーの利用 3 設備システムの高効率化 4 効率的運用	住宅部等級4 住宅部分BEI=0.92、非住宅部分BEIm=0.94	3.3/5.0	3.3
LR-3 ■ 敷地外環境対策 2 2.2 温熱環境悪化の改善	敷地内緑化による地表面被覆対策を行っている。	0.5/0.8	3.0

注)重点項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

重点項目への貢献点の平均点 **2.9**

ライフサイクルCO2評価対象項目についての環境配慮概要		実績スコア合計/ 最高点のスコア合計	ライフサイクル CO2評価対象 項目への 貢献点注) (5点満点)
内訳対応項目	各項目について配慮した内容を記述してください。		
建設段階			
Q-2 ■ サービス性能対策 2 2.2 2.2.1 躯体材料の耐用年数		0.1/0.1	3.0
修繕・更新・解体段階			
LR-2 ■ 資源・マテリアル対策 2 2.2 既存建築躯体等の継続利用 2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用		0.7/1.2	3.0
運用時のエネルギー			
LR-1 ■ エネルギー対策 1 建物外皮の熱負荷抑制 2 自然エネルギーの利用 3 設備システムの高効率化 4 効率的運用	住宅部等級4 住宅部分BEI=0.92、非住宅部分BEIm=0.94	3.3/5.0	3.3

注)ライフサイクルCO2評価対象項目に該当する評価項目の得点(重み係数付)を集計し、当該項目の最高点の合計に対する貢献度を示した点数。

スコアシート	重点項目				環境配慮設計の概要記入欄	建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	G	W	R	H		評価点	重み係数	評価点	重み係数	
Q 建築物の環境品質										2.8
Q1 室内環境							0.40		-	2.9
1 音環境						2.0	0.15	3.3	1.00	2.8
1.1 室内騒音レベル						3.0	0.48	3.0	0.50	
1.2 遮音					住宅専用部:T-2以上	1.1	0.48	3.6	0.50	
1 開口部遮音性能						1.0	0.92	5.0	0.30	
2 界壁遮音性能						3.0	0.08	3.0	0.30	
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)							-	3.0	0.20	
4 界床遮音性能(重量衝撃源)							-	3.0	0.20	
1.3 吸音						1.0	0.04		-	
2 温熱環境						1.0	0.35	2.7	1.00	2.2
2.1 室温制御						1.1	0.50	3.3	0.50	
1 室温					UA値=基準値0.87以下等級4	1.0	0.60	3.0	0.63	
2 外皮性能		W				1.0	0.33	4.0	0.38	
3 ゾーン別制御性						3.0	0.07		-	
2.2 湿度制御						1.0	0.20	1.0	0.20	
2.3 空調方式						1.0	0.30	3.0	0.30	
3 光・視環境						3.0	0.25	3.4	1.00	3.2
3.1 昼光利用						3.0	1.00	3.4	0.30	
1 昼光率					住宅専用部:昼光率2.2%	-	-	5.0	0.50	
2 方位別開口							-	1.0	0.30	
3 昼光利用設備		W				3.0	1.00	3.0	0.20	
3.2 グレア対策						-	-	4.0	0.30	
1 昼光制御		W			住宅専用部:庇+カーテンでグレアを制御	-	-	4.0	1.00	
3.3 照度						-	-	3.0	0.15	
3.4 照明制御						-	-	3.0	0.25	
4 空気質環境						3.5	0.25	3.8	1.00	3.7
4.1 発生源対策						4.0	0.58	4.0	0.63	
1 化学汚染物質					使用建築材料(天井裏共)は全て、規制対象外建材はF☆☆☆☆等級建材を使用	4.0	1.00	4.0	1.00	
4.2 換気						3.0	0.38	3.6	0.38	
1 換気量						3.0	0.50	3.0	0.33	
2 自然換気性能					住宅専用部:自然換気有効開口が居室床面積の1/6以上		-	5.0	0.33	
3 取り入れ外気への配慮						3.0	0.50	3.0	0.33	
4.3 運用管理						2.0	0.04		-	
1 CO ₂ の監視						3.0	0.50		-	
2 喫煙の制御						1.0	0.50		-	

Q2 サービス性能				—	0.30	-	-	2.9
1 機能性				2.4	0.40	2.8	1.00	2.6
1.1 機能性・使いやすさ				3.0	0.40	3.0	0.60	
1	広さ・収納性				-		-	
2	高度情報通信設備対応			3.0	1.00	3.0	1.00	
3	バリアフリー計画			3.0	1.00		-	
1.2 心理性・快適性				1.0	0.30	2.5	0.40	
1	広さ感・景観		居室天井高:2.5m以上	1.0	0.10	4.0	0.50	
2	リフレッシュスペース				-		-	
3	内装計画			1.0	0.90	1.0	0.50	
1.3 維持管理				3.0	0.30		-	
1	維持管理に配慮した設計			3.0	0.50		-	
2	維持管理用機能の確保			3.0	0.50		-	
2 耐用性・信頼性				2.9	0.30		-	2.9
2.1 耐震・免震・制震・制振				3.0	0.50		-	
1	耐震性(建物のこわれにくさ)			3.0	0.80		-	
2	免震・制震・制振性能			3.0	0.20		-	
2.2 部品・部材の耐用年数				3.0	0.30		-	
1	躯体材料の耐用年数	R		3.0	0.20		-	
2	外壁仕上げ材の補修必要間隔	R		2.0	0.20		-	
3	主要内装仕上げ材の更新必要間隔	R		3.0	0.10		-	
4	空調換気ダクトの更新必要間隔	R		3.0	0.10		-	
5	空調・給排水配管の更新必要間隔	R	給水VP(B)、汚水排水VP(B)、雑排水VP(B)、EIは不使用	4.0	0.20		-	
6	主要設備機器の更新必要間隔	R		3.0	0.20		-	
2.4 信頼性				2.6	0.20		-	
1	空調・換気設備			3.0	0.20		-	
2	給排水・衛生設備			2.0	0.20		-	
3	電気設備			3.0	0.20		-	
4	機械・配管支持方法			3.0	0.20		-	
5	通信・情報設備			2.0	0.20		-	
3 対応性・更新性				3.0	0.30	3.6	1.00	3.4
3.1 空間のゆとり				4.2	0.06	4.2	0.50	
1	階高のゆとり		飲食:3.81m,住宅部3.01m	5.0	0.60	5.0	0.60	
2	空間の形状・自由さ			3.0	0.40	3.0	0.40	
3.2 荷重のゆとり				3.0	0.06	3.0	0.50	
3.3 設備の更新性				3.0	0.88		-	
1	空調配管の更新性			3.0	0.20		-	
2	給排水管の更新性			3.0	0.20		-	
3	電気配線の更新性			3.0	0.10		-	
4	通信配線の更新性			3.0	0.10		-	
5	設備機器の更新性			3.0	0.20		-	
6	バックアップスペースの確保			3.0	0.20		-	
Q3 室外環境(敷地内)				—	0.30	-	-	2.7
1 生物環境の保全と創出				2.0	0.30		-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮				3.0	0.40		-	3.0
3 地域性・アメニティへの配慮				3.0	0.30		-	3.0
3.1 地域性への配慮、快適性の向上				3.0	0.50		-	
3.2 敷地内温熱環境の向上				3.0	0.50		-	

LR 建築物の環境負荷低減性									2.9		
LR1 エネルギー									3.2		
1 建物外皮の熱負荷抑制				W		H	住宅:等級4 非住宅BPIm=1.31	3.3	0.20	-	3.3
2 自然エネルギー利用				W		H		3.0	0.10	-	3.0
3 設備システムの高効率化				W		H	[BE][BEIm] = -	3.4	0.50	-	3.4
4 効率的運用								3.0	0.20	-	3.0
集合住宅以外の評価								3.0	0.20	-	
4.1 モニタリング				W		H		3.0	0.50	-	
4.2 運用管理体制				W		H		3.0	0.50	-	
集合住宅の評価								3.0	0.80	-	
4.1 モニタリング				W		H		3.0	0.50	-	
4.2 運用管理体制				W		H		3.0	0.50	-	
LR2 資源・マテリアル									0.30	-	2.4
1 水資源保護				W		R		2.2	0.20	-	2.2
1.1 節水								1.0	0.40	-	
1.2 雨水利用・雑排水等の利用								3.0	0.60	-	
1 雨水利用システム導入の有無								3.0	0.92	-	
2 雑排水等利用システム導入の有無								3.0	0.08	-	
2 非再生性資源の使用量削減								2.4	0.60	-	2.4
2.1 材料使用量の削減				W		R		2.0	0.10	-	
2.2 既存建築躯体等の継続使用				W		R		3.0	0.20	-	
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				W		R	-	3.0	0.20	-	
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				W		R	-	1.0	0.20	-	
2.5 持続可能な森林から産出された木材				W		R		2.0	0.10	-	
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				W		R		3.0	0.20	-	
3 汚染物質含有材料の使用回避								3.0	0.20	-	3.0
3.1 有害物質を含まない材料の使用								3.0	0.30	-	
3.2 フロン・ハロンの回避								3.0	0.70	-	
1 消火剤				W				-	-	-	
2 発泡剤(断熱材等)				W				3.0	0.50	-	
3 冷媒				W				3.0	0.50	-	
LR3 敷地外環境									0.30	-	3.0
1 地球温暖化への配慮				W			LCCO2排出率95%	3.1	0.33	-	3.1
2 地域環境への配慮								2.9	0.33	-	2.9
2.1 大気汚染防止								3.0	0.25	-	
2.2 温熱環境悪化の改善				G	W		H	3.0	0.50	-	
2.3 地域インフラへの負荷抑制								2.7	0.25	-	
1 雨水排水負荷低減						R		3.0	0.25	-	
2 汚水処理負荷抑制						R		3.0	0.25	-	
3 交通負荷抑制						R		3.0	0.25	-	
4 廃棄物処理負荷抑制						R		2.0	0.25	-	
3 周辺環境への配慮								3.0	0.33	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止								3.0	0.40	-	
1 騒音								3.0	1.00	-	
2 振動								-	-	-	
3 悪臭								-	-	-	
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制								3.0	0.40	-	
1 風害の抑制								3.0	0.70	-	
2 砂塵の抑制								3.0	-	-	
3 日照障害の抑制								3.0	0.30	-	
3.3 光害の抑制								3.0	0.20	-	
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策								3.0	0.70	-	
2 星光の建物外壁による反射光(グレア)への対策								3.0	0.30	-	